本学園八王子キャンパスにおけるPFOS（有機フッ素化合物の一種）を含む泡消火剤の一部流出について

2025年7月31日更新
学校法人片柳学園

この度、八王子キャンパス地下車路においてPFOS（有機フッ素化合物の一種）を含む泡消火剤が一部漏れたことが確認され、キャンパス外への流出の可能性があることが判明いたしました。

本学園では、泡消火剤を含む消防設備に関して法令に基づく点検・管理を行っておりましたが、今回、予期せぬ配管の亀裂により一部漏れてしまう事態となりました。現在、八王子キャンパスを7月17日より全面閉鎖し、PFOSが含まれている可能性のある汚水の除去作業を行っております。

●これまでの経緯

・7月10日夜八王子キャンパス地下車路において泡消火剤の漏水が確認され、２L程度が調整池へ流入しました。

・7月15日に八王子市が採取した水から基準値を超える濃度が確認されました。（調整池出口付近　8,600ng/L　兵衛川付近　1,600ng/L）※7月22日八王子市発表

・7月18日に八王子市が採取した水に関しても高い濃度が確認されました。（調整池出口付近　11,000ng/L　兵衛川付近　810ng/L）※7月25日八王子市発表

・7月23日に八王子市が採取した水に関して前回を下回る濃度が確認されました。（調整池出口付近　5,600ng/L　兵衛川付近　390ng/L）※7月28日八王子市発表

参考：河川における暫定指針値　50ng/L

●現在および今後の対応

１．事故後学内汚水処理場から調整池への放流を止めキャンパス外への流出を停止

２．調整池から外部河川への放水口を遮断
　さらに水量が上がった場合に備え、放水口の完全遮断工事を準備中

３．7月17日よりキャンパスを完全閉鎖して汚染水の量を低減

４．キャンパスに残留している汚染水を産業廃棄物処理業者に依頼し搬出を実施中

５．八王子市および専門企業と連携し解決に向けた施策の実施・協議

この度は、周辺環境への影響までもが懸念される事態を招き、地域住民の皆様をはじめ、関係の皆様に多大なご心配とご迷惑をおかけしていますことを、深くお詫び申し上げます。

引き続き八王子市、関連機関と密な連携をとり、必要な措置を確実に実施して一日も早いキャンパス復旧と皆様の不安を取り除けるよう、学園一丸となって対応してまいります。

本HPにて今後の見通しなどの状況に関しては随時お知らせしてまいります。